

- 給与上手くんα VERSION:15.401
- 給与上手くんαクラウド・給与上手くんαクラウド SE VERSION:15.401

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ 令和7年の算定基礎に対応
 - 算定基礎届、月額変更届、賞与支払届、賞与不支給報告書の様式変更に対応しました。
- ◆ 確定保険料算定基礎賃金集計表
 - 確定保険料・一般拠出金算定基礎賃金集計表の様式変更に対応しました。
- ◆ 給与・賞与
 - 給与・賞与
 - ① 給与（賞与）明細書に健康保険・厚生年金保険の標準報酬月額及び等級を表示することが可能になりました。
 - 出力処理／明細書出力
 - ① 出力オプションに「過去の明細書出力」を追加し、月指定で過去月の明細書の出力を可能にしました。また、それに伴い「前年の明細書出力」を廃止しました。
- ◆ その他の改良・修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**給与処理 d b 【給与計算】（VERSION: 15.401）の変更点**”を参照してください。

ご注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

給与処理 d b 【給与計算】 (VERSION:15.401) の変更点

改正

I. 社会保険の定時決定 (算定基礎届等)

1) 算定基礎届

①改正による変更点は以下の通りです。

- ・タイトルの変更…「(兼)」の追加
- ・左下欄外に「S3年」の文言追加

健康保険 被保険者報酬月額算定基礎届
厚生年金保険 (兼)厚生年金保険 70歳以上被用者算定基礎届

健康保険 被保険者報酬月額算定基礎届
厚生年金保険 70歳以上被用者算定基礎届
(令和6年分)

項目名
1. 被保険者情報
2. 被保険者氏名
3. 生年月日
4. 適用年月
5. 個人番号(健康保険番号)
6. 70歳以上被用者算定(厚生年金保険)の適用
7. 給与計算の基礎となる月の額
8. 現物によるもの額
9. 合計(⑦+⑧)
10. 平均額
11. 適用月数
12. 適用月数
13. 適用月数
14. 適用月数
15. 適用月数
16. 適用月数
17. 適用月数
18. 適用月数
19. 適用月数
20. 適用月数

※ S3年 月ではな(実際に給与の支払いを行った月)となります。

2) 月額変更届

①改正による変更点は以下の通りです。

- ・タイトルの変更…「(兼)」の追加
- ・左下欄外に「S3年」の文言追加

健康保険 被保険者報酬月額変更届
厚生年金保険 (兼)厚生年金保険 70歳以上被用者月額変更届

3) 賞与支払届

①改正による変更点は以下の通りです。

- ・タイトルの変更…「(兼)」の追加
- ・左下欄外に「S3年」の文言追加

健康保険 被保険者賞与支払届
厚生年金保険 (兼)厚生年金保険 70歳以上被用者賞与支払届

4) 賞与不支給報告書

①改正による変更点は以下の通りです。

- ・左下欄外に「S3年」の文言追加

II. 労働保険の年度更新 (算定基礎賃金集計表)

1) 令和 年度 確定保険料・一般拠出金算定基礎賃金集計表

①労働保険番号欄の「府県」が「都道府県」に変更になりました。

労働保険 番号	都道府県	所掌	管轄	基礎番号				枝番号		
								0	0	0

改正対応

マスターバージョンアップ

■ 給与・賞与業務等で既存マスターを開くとバージョンアップメッセージを表示します。



※ 「はい」 で進むと処理を開始します。
「いいえ」 で進むとロックされますので、バージョンアップ処理はかかりません。

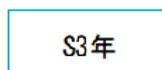
I. 給与・賞与

1) 出力処理

① 賞与支払届について、様式変更に対応しました。（タイトルに「兼」、左下欄外に「S3年」追加）



② 賞与不支給報告書について、様式変更に対応しました。（左下欄外に「S3年」追加）



2) 算定基礎届・月額変更届

① 算定基礎届について、様式変更に対応しました。（タイトルに「兼」、左下欄外に「S3年」追加）



② 月額変更届について、様式変更に対応しました。（タイトルに「兼」、左下欄外に「S3年」追加）



3) 算定基礎賃金集計表

① 確定保険料算定基礎賃金集計表について、様式変更に対応しました。

労働保険番号	都道府県	所掌	管轄	基幹番号	枝番号
	27	0	00	0000000	000

改良

I. 給与・賞与

1) 給与・賞与

①給与（賞与）明細書に健康保険・厚生年金保険の標準報酬月額及び等級を表示することができるようにしました。（初期設定はOFF）

- ・ 健保標準報酬月額
- ・ 健保等級
- ・ 厚年標準報酬月額
- ・ 厚年等級

《給与体系登録》

保険・控除関係（F5）から、控除欄に登録可能です。

		勤怠・単価関係(F3)		支給関係(F4)		保険・控除関係(F5)			
31.郵便振込額									
32.健保標準報酬月額									
33.健保等級									
34.厚年標準報酬月額									
35.厚年等級									
< 前頁		次頁 >							
勤怠	出勤数	欠勤数	遅刻回数	早退回数	時間外時間	深夜時間	休日時間	休日深夜時間	時間外5時間
	給与単価	欠勤単価	遅刻単価	早退単価	時間外単価	深夜単価	休日単価	休日深夜単価	時間外5単価
支給	日宿回数		日宿単価		前月有給残日数		有給当月使用日数		当月有給残日数
	本給	役職手当	家族手当	手当-1	手当-2	手当-3	手当-4		
控除	手当-5	手当-6	手当-7	手当-8	手当-9	手当-10			
	通勤費(非課税)	通勤費(課税)	欠勤控除	遅刻控除	早退控除				総支給額
控除	健康保険料	厚生年金保険料	その他社会保険料	雇用保険料	課税対象額	所得税	住民税		
	既払い定期代	控除-1	控除-2	控除-3	控除-4	控除-5	控除-6		
	控除-7	控除-8	控除-9	健保標準報酬月額	健保等級	厚年標準報酬月額	厚年等級		
			控除合計		前月端額分	当月端額	差引支給額		

□ 三人分明細書設定にする

《項目属性登録》

所得項目内に設置されています。項目属性の変更は不可です。

7年7月分(賞与)		項目名称	健保標準報酬月額	所得項目
分類項目: 所得項目		使用範囲	共通	
前分類(F3)	次分類(F4)	項目使用SW	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 不使用	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 所得項目 ○ 課税対象額 ○ 総支給額 ○ 差引支給額 ○ 所得税 ○ 年調過不足税額 ○ 年調翌年繰越額 ○ 前年精算残額 ○ 当月精算額 ○ 時間外合計 ○ 前月課税対象額 ○ 前月所得税額 ○ 支給方法1 ○ 支給方法2 ○ 支給方法3 ○ 現金支給額 ○ 銀行振込額 ○ 郵便振込額 ○ 健保標準報酬月額 ○ 健保等級 ○ 厚年標準報酬月額 ○ 厚年等級 		入力/端数処理	計算/四捨五入	
		計算ルール(登録Home)		
		更新SW	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 消去	
		報酬属性	<input checked="" type="radio"/> 固定の賃金 <input type="radio"/> 変動の賃金 <input type="radio"/> 一時的賃金	
		課税SW	<input checked="" type="radio"/> 課税 <input type="radio"/> 非課税 <input type="radio"/> 自動	
		雇用保険SW	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外	
		進数	<input checked="" type="radio"/> 10進 <input type="radio"/> 60進	
		項目名称表示SW	<input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示	
		外国語名称:		
		上段		
		下段		

《給与・賞与入力》
明細書入力

健保標準報酬月額	健保等級	厚年標準報酬月額	厚年等級
300,000	22	300,000	19

社員一覧入力

健保標準報酬月額	健保等級	厚年標準報酬月額	厚年等級
300,000	22	300,000	19

項目一覧入力

健保標準報酬月額	300,000
健保等級	22
厚年標準報酬月額	300,000
厚年等級	19

※ユーザー項目入力については、従前より「本人関係」に該当項目があるため、新たに「所得関係」に追加することはしません。

《明細書出力》

給与明細書

控除	健康保険料 15,465	厚生年金保険料 27,450	その他社会保険料 控除-1 控除-2	雇用保険料 1,705	課税対象額 255,380	所得税 6,740	住民税 控除-6
除余	健保標準報酬月額 300,000	健保等級 22	厚年標準報酬月額 300,000	厚年等級 19	年調整年繰越額 前月端額分	前年精算残額 当月端額	当月精算額 差引支給額 258,640
			控除合計 51,360				

賞与明細書

控除	健康保険料 51,550	厚生年金保険料 91,500	その他社会保険料 控除-1 控除-2	雇用保険料 5,500	課税対象額 851,450	所得税 52,159	
除余	健保標準報酬月額 300,000	健保等級 22	厚年標準報酬月額 300,000	厚年等級 19	年調整年繰越額 前月端額分	前年精算残額 当月端額	当月精算額 差引支給額 799,291
			控除合計 200,709				

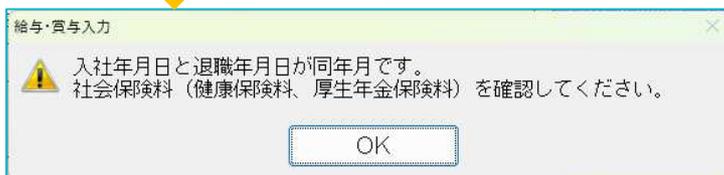
※給与台帳兼賃金台帳では従来通り表示しません。ご了承ください。

②社会保険の同月得喪（入社年月と退職年月が同じ）の場合に社会保険料を徴収するようにしました。（当月の社会保険徴収月の保険料で計算します。）

《例》

入社年月日	令和07年07月01日
退職年月日	令和07年07月15日

↓ 同月得喪の設定で、下記メッセージを表示します。（従前と同様）



↓ 従前は保険料が空白でしたが、当月分の保険料をセットするよう変更しました。

健康保険料	厚生年金保険料
15,465	27,450

継続雇用でも同様の対応となります。

《ご注意》

上記対応により、社会保険の徴収月が前月分徴収の設定の場合、入社年月と退職年月が同月かつ退職日が月末（末日）の場合においても社会保険の徴収が「なし→あり」に変わります。末日退職の場合は、同月得喪には該当しないため、必要に応じて手修正してください。

2) 出力処理／明細書出力

①出力オプションに「過去の明細書出力」を追加し、月指定で過去月の明細書の出力を可能にしました。また、それに伴い「前年の明細書出力」を廃止しました。

出力オプション

- 全項目ゼロの社員を出力
- 端額のみある社員を出力
- 既退職社員を出力
- ロックをかけた社員のみ出力
- 金額0の場合、ゼロ出力する
- 最終頁に給与体系単位で合計を出力
- 過去の明細書出力 月指定

(処理月 6月)

出力月指定

処理月	支給日
12月 [年調]	12月25日(前年)
12月 [年調]	12月25日(前年)
01月 [給与]	01月24日
02月 [給与]	02月25日
03月 [給与]	03月25日
04月 [給与]	04月25日
05月 [給与]	05月23日

- ・“当年の過去月”と“前年の年調”の明細書を指定できます。
- ・「前年の明細書出力」の選択肢は廃止されましたが、出力月指定の選択肢中に前年の年調があり、機能がなくなったわけではありません。
- ・処理月 12月分で年調計算（単独年調単独支給）を行っている場合は、その直前の 12月給与（又は賞与）の明細書も指定可能です。

修正

I. 給与・賞与

1) 出力処理

①所得税徴収高計算書（納付書）について、給与支給日が休日となる処理月の抽出を行う際、会社設定の休日振替区分を変更して支払年月日が変わったにも関わらず、支払年月日が変わらないケースがあったのを修正しました。

《例》令和7年1月分 給与支給基準日：25日 休日振替区分：前日振替
上記設定で「前日振替→振替しない」に変更しても、納付書の支払年月日が1月24日で抽出されていました。

《条件》下記すべてに該当するマスターで現象が発生していました。
部署の給与支給参照元が会社に設定されている。
部署の下に登録されている社員が上記の部署参照になっている。（対象となる社員）
会社設定で休日振替区分を変更したことにより支給日が変更となる。

2) 確定保険料算定基礎賃金集計表

①基礎賃金集計表について、出力選択リストに当年マスターで社員が所属している部署のみが表示されていたのを、該当の期間（前年マスター内を含む）に社員の登録されているすべての部署を表示するように修正しました。

以上